

名鉄病院newsletter

平成24年 夏号



内視鏡的粘膜下層剥離術風景

9月1日からお薬の受取方法が変わります。

9月1日から、お薬の受取りは、**病院外の保険調剤薬局**になります。
ご理解とご協力をお願いいたします。

INDEX

- **診療科からご挨拶**.....P2.3
・ 消化器内科のご紹介
- **診着情報**.....P4
・ ウロギネセンターを開設しました。
- **現場スタッフから**.....P5
・ 4F病棟の紹介
- **院フォメーション**.....P6

ほか

■ 診療科目

総合内科・循環器内科・腎臓内科
消化器内科・呼吸器内科・神経内科
血液内科・内分泌代謝科・小児科
外科・整形外科・リハビリテーション科
脳神経外科・婦人科・皮膚科
泌尿器科・耳鼻咽喉科・眼科
放射線科・予防接種センター・健診センター

■ 専門外来〈予約制〉

禁煙外来、乳腺外来、インスリン導入外来
スポーツ内科（他院からの紹介の方のみ）
シルバークリニック、小児慢性疾患外来、
乳児健診、女性泌尿器科外来、
肝臓外来 他
※ご不明な点は、お問い合わせ下さい。

消化器内科のご紹介



<消化器内科スタッフ>

消化器内科部長	西尾 雄司
内視鏡科部長	竹田 欽一
消化器内科医師	安田 真理子
〃	上野 泰明
〃	金 正修
肝臓外来担当	荒川 恭宏

消化器内科では胃・大腸・肝臓・胆道・膵臓などの癌、胃十二指腸潰瘍、大腸ポリープ、潰瘍性大腸炎・クローン病、肝炎、胆石、膵炎など消化器疾患全般にわたる診療を行っています。救急疾患は勿論のこと、御紹介いただいた患者様や初診の患者様でも可能な限り迅速に検査を行って診断を確定し、速やかに治療を開始するように努めています。正確な診断、適切な治療を行うために外科、放射線科、病理と協力しあいながらチーム医療を行っています。

① 苦痛の少ない内視鏡検査を目指します！

内視鏡を使用した医療技術の進歩は著しく、内視鏡検査や内視鏡手術の件数は年々増加しています。癌など微細病変の早期発見や術前の病変範囲の精密診断などを目的に、病変の特徴である粘膜表層の毛細血管やわずかな粘膜の肥厚、深部血管などを、特殊な光を用いて病変をより高精度に観察することができるNBI(Narrow Band Imaging: 狭帯域光観察)システムや病変を80倍程度まで拡大して観察することができる内視鏡など、より精度の高い検査を行うために当院は最先端の内視鏡システムを導入しています。

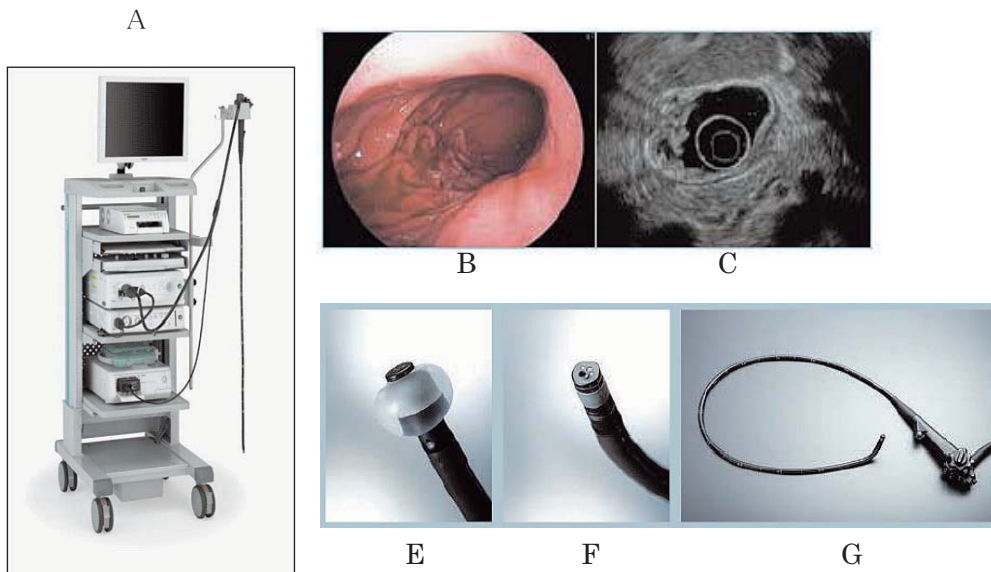
内視鏡検査を行うためには空気で胃や腸を膨らませる必要があります。しかし、検査が終わった後、お腹に残った空気のためしばらくつらくなってしまう方がいらっしゃいます。内視鏡で使用する空気を炭酸ガスに変更すると、炭酸ガスは吸収が非常に早くその排出の早さは空気の1000倍以上と言われており、お腹の張りなどの苦痛が大幅に軽減されます。当院では2台の内視鏡用炭酸ガス送気装置を導入しており、患者様の苦痛軽減に努めております。

なお当院では患者様のご希望があれば鎮静剤を使用した内視鏡を積極的に行っております。

これらにより「正確な診断」を実現するとともに、「苦痛の少ない」検査・治療が可能となりました。

② 最新の超音波内視鏡システムを導入しました！

超音波内視鏡検査とは、内視鏡の先端から超音波を送受信し消化管壁や周囲組織・臓器(胆嚢や膵臓など)などの超音波診断をおこなう検査です。当院では2月に最新の超音波内視鏡システムを導入しました。この超音波内視鏡は内視鏡の外径が11.4mmと細く直視型であり、通常の内視鏡に近い操作性での超音波内視鏡検査が行えます。また、優れた湾曲性能を有しており、従来の超音波内視鏡ではアプローチの難しかった部位の観察も可能です。精密検査になりますので検査時間は通常の内視鏡と比べ多少長くなります。



A : 超音波内視鏡装置 SU-800システム(富士フィルムメディカル株)
 B : 通常の内視鏡では消化管の病変の表面しか見ることが出来ません。
 C : 超音波を用いることにより、表面より深い部分の観察が可能となります。
 DEF: 超音波内視鏡専用カメラ。先端のバルーンに水を注水することにより、超音波を体内へ通りやすくする仕組み。

また、管腔内超音波検査は内視鏡下に十二指腸乳頭部から胆管や膵管内に超音波プローブを挿入します。細い胆管や膵管は腹部超音波検査や超音波内視鏡検査でも観察困難な場所ですが、細い超音波プローブを直接胆管や膵管に挿入することでより詳細な画像情報を得ることが可能になりました。

③肝臓外来を開設しました！

当院では、肝疾患患者様の腫瘍精密検査やスクリーニング検査に対して、造影超音波検査を積極的に施行しており、その検査件数は県内でもベスト3に入るまでになりました。超音波検査に使用する造影剤は、卵アレルギーの既往のある患者様には使用することはできませんが、CT検査やMRI検査に使用する造影剤とは違い腎臓機能の低下している患者様にも使用することが可能です。また、超音波検査の分解能(見分けられる最小の値)はCT検査やMRI検査よりも小さため、より早期の腫瘍を発見することができます。

肝疾患に対する治療は日々進歩しており、以前より難治といわれてきたC型慢性肝炎 genotype1型に対してプロテアーゼ阻害剤のテラプレビルが保険適応となり、従来と比較し良好な治療効果を期待できるようになりました。当院でも平成24年3月よりテラプレビルの入院導入を開始し、積極的に治療を行っております。またB型慢性肝炎に対しても、ガイドラインに従い核酸アナログ製剤やインターフェロン等の治療を積極的に行っております。肝疾患は自覚症状なく進行し、発癌等のリスクがあるため、定期的な検査が必要であり、当院ではダイナミックCT、EOB-MRI、造影超音波検査等の画像検査、血液検査を行い、早期診断に努めております。また、名古屋大学医学部消化器内科肝臓研究室より医師を派遣していただき、2012年1月より毎週木曜日午前に肝臓外来を開設しました。肝疾患の治療内容や適応は、原因、年齢、肝予備能により異なってきます。肝機能異常を指摘された方、またウイルス性肝炎に対する治療を希望されておられる方は受診していただくと幸いです。

■ 外来医師担当表

平成24年8月1日現在

曜日	月	火	水	木	金	土
担当医	竹田	西尾	竹田	安田	西尾	金
	金	安田	上野	金	上野	
				肝臓外来 荒川		

ウロギネセンターを開設しました

ウロギネセンター長 成島 雅博

当院では、2012年6月1日からウロギネセンターを開設しました。ウロギネセンターとは『婦人科』と『泌尿器科』にまたがるウロギネコロジー疾患に対応する診療科です。

ウロギネコロジーとは、『ウロロジー：urology 泌尿器科』『ギネコロジー：gynecology 産婦人科』という言葉が合わさった造語です。



女性特有の病、主に骨盤臓器脱(膀胱瘤、子宮脱、直腸脱、膈断端脱)と腹圧性尿失禁を対象とした女性専門外来です。

開設理念は、骨盤臓器脱、尿失禁、排尿障害などウロギネコロジーの患者様に総合的な質の高い医療サービスを提供することです。

メンバーは、皮膚排泄認定(WOC)看護師1名、助産師1名、看護師6名、排尿機能検査士2名、医事事務1名を加え総勢12名で、患者様が医師には話しにくいことも気軽に相談できる体制としました。各メンバーは骨盤臓器脱、尿失禁、排尿障害などについての専門的な知識を持ち、患者様が安心して治療を受けられる環境を作っています。今後、名鉄病院ウロギネセンターを何卒よろしく願いいたします。

出産後、骨盤内臓器手術後における骨盤底筋の低下により、咳やくしゃみで尿が漏れるちょっとした運動で尿漏れするなど、20代～60代女性において約3～4割が尿失禁経験者と言われています。

また、朝はいいけど、夕方から夜にかけて膈からピンポン玉のようなものが触れるなどの経験をされるかたは、骨盤臓器脱の可能性ががあります。



ウロギネセンタースタッフ

当院では多くの骨盤臓器脱と、尿失禁患者さんの治療を行なっています。『恥ずかしくて誰にも相談できない』『周りの人に気づかれないだろうか』など尿漏れを経験されると、生活の質の低下、精神的負担が生じてしまうといわれます。

尿失禁とは、ご自分の意思に反して、尿が漏れてしまう症状のことです。尿漏れは目に見えない症状で生命に関わりが少なく、何よりも羞恥心があり受診されないケースもあります。

当院では排泄ケアに関する専門の看護師もいます。お困りの方はお1人で悩まず、是非ご相談ください。



皮膚排泄ケア認定看護師

尿失禁でお困りの方に、失禁の改善・予防のための骨盤低筋体操指導や皮膚トラブル予防のケアを、専門の知識を持った医師と看護師が行っています。

ウロギネセンターの外来(予約制)

診察日：毎月第1、第3金曜日の午後(月によっては第2第4へ変更になります)

受診希望の方は、ウロギネセンター 052-551-6121(代) へご連絡ください。

4F病棟の紹介



成長発達を大切にしながら 笑顔で援助をしています!!

4F病棟は、病床数43床の小児科が主体の病棟です。

スタッフは、看護師27名、保育士1名、クラーク1名、看護助手2名で子どもの成長発達を大切にしながら笑顔で援助をしています。

小児科医5名が交代で休日救急センターで午前の診察や病診連携医からの紹介患者の入院受け入れを24時間体制で行なっています。

病棟内にはプレイルームがあり、おもちゃ、絵本、DVDが設置され、季節行事、制作活動をスタッフで企画協力しながら行っており、遊びの空間として利用されています。

入院中の子どもたちのためにホスピタルクラウンやぶくぶくバルーンのボランティア訪問があり、入院生活の中でもひととき安らぐ時間となっています。



入院中でも授業が受けられます!!(訪問教育)

小中学生が入院中でも授業を受けられる訪問教育を行なっています。(週3回)

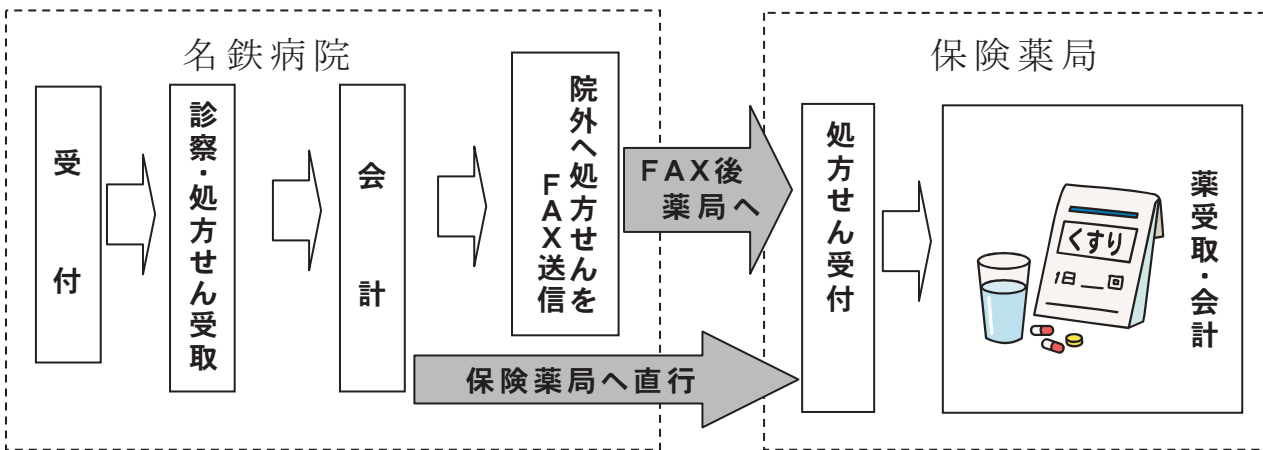


院フォメーション

9月1日からお薬の受取は、院外の「保険調剤薬局」になります！

当院は平成24年9月1日から、薬を「院外処方」に切り替えることになりました。院外処方は「診断と治療は医師が行い、薬は院外の保険薬局で受け取る」という政府の医薬分業政策の流れに沿うものです。現在は病院内の薬局窓口で薬をお渡ししていますが、9月からは院外の保険調剤薬局へ当院発行の「処方せん」を提出していただき、そちらの薬局で薬を受け取っていただくことになります。

患者さまには、出来る限りご不便をおかけしないよう努めさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



■名鉄栄生駐車場のご案内



名鉄栄生駐車場料金表(H24.8.1現在)

入庫～1時間まで	100円
入庫～1時間越える毎に	100円加算
入庫～から最大12時間まで	1,000円

※上記の料金は変更する場合があります。

病院周辺は駐車禁止です。

名鉄栄生駐車場は時間帯によって混雑する場合がございます。満車の場合はお近くの名鉄協商コインパーキングをご利用ください。

コインパーキングは、場所によって料金が異なりますので、詳しくは名鉄協商パーキングHPにてご確認ください。

<http://www.mkyosho.co.jp/parking/info/>

名古屋鉄道健康保険組合 名鉄病院

〒451-8511 名古屋市西区栄生2-26-11

TEL.052-551-6121(代)

TEL.052-586-5755 FAX.052-586-5756 (地域医療連携室)

URL: <http://www.meitetsu-hospital.jp/>

